



自分たちで前へ

先生 三冠(*)、おめでとう。本校ハンドボール部初の快挙に地元も歓喜に沸いて、うれしかったよ。試合中、悪い流れになっても自分たちでそれを打開できるほど主体的なチームになれたのは、この1年間で一人ひとりが大きく成長したからだと思う。高校総体でタイムアウトを1回も取らずに優勝したのもすごかったね。

生徒 先生が自分たちに練習を任せてくれたおかげです。毎日、部員で課題を出し合い、何をすべきか話し合っただけで練習してきたことが、試合でも自ら考えてプレーする意識につながりました。

生徒 トレーナーや栄養士などの専門家にもお世話になって、体づくりへの意識も変わりました。自分で体重を管理し、ウエイトトレーニングの種類や回数を決めるのは大変だったけれど、面白さや達成感もありました。

先生 みんなの勝利への強い思いを知っていたから、基礎知識をしっかり身につけさえすれば、あとは自分たちで進めていけると考えて、環境を整えたんだよ。

生徒 全国高校選抜大会の2週間前の練習試合で、このチームで初めて負けたことも大きかったです。

生徒 このままではチームがばらばらになると思って、

みんなに声をかけて練習後に思いっきり遊んで、それで1つになれたというか……、コート上でもよく声をかけ合うようになりました。

生徒 以前は、自分の実力不足に落ち込むばかりでしたが、チームでよく話し合っただけで連携プレーがうまくいくようになってからは、自信が持てるようになりました。

先生 全員でフォローし合うようになったよな。

生徒 2年生の頃は、点を取られても自分が突っ走って得点を決めればいいと思っていたけれど、今は誰かがミスしても雰囲気が悪くならないよう、ハイタッチして気持ちを切り替えさせるなど、周りが見えるようになり、自分でも成長したと感じます。

先生 君たちは、自分の課題を自分でつかみ、その克服に向けて必要なことを考え、実行に移す力を手に入れたんだ。それは部活動だけでなく、これからの人生でも役立つ力になる。卒業後も自分の道は自分でしっかり考えて、前へ進んでいけよ！

生徒 このチームでプレーできて本当に楽しかったです。将来、海外のチームでプレーすることを目指して、これからも頑張ります！

徳前紀和先生 教職歴30年。同校に赴任して9年目。進路指導部長。ハンドボール部監督。

富山県立氷見高校 全日制/普通科・農業科学科・海洋科学科・ビジネス科・生活福祉科/共学/1学年約280人/2018年度入試合格実績(現浪計) 国公立大は、筑波大、富山大などに38人が合格。私立大は、慶應義塾大、明治大などに延べ161人が合格。

*同校の男子ハンドボール部は、2018年度の全国高校選抜大会、全国高校総合体育大会、国民体育大会の3つの大会で優勝した。